



巻頭言

(センター長 藤敷庸一)

児童家庭支援センターの経営は、基本的には県からの補助金と指導委託料で成り立っています。従って、センターの活動は、児童家庭支援センター設置運営要綱で定められている事業内容に規程されます。事業内容は、通信先月号で紹介した通りです。規定があるのは当然のこと、事業内容

も大切なことばかりで、重要性もよく理解できます。ただ、取りようによっては、要綱で定められている範囲の仕事をすればいいという考えに自分が至ってしまわないかと、心配してしまいます。いくら頑張っても待遇が変わらないという考えに陥ってしまうかもしれない。決められた枠の中で無理のない範囲で、わざわざ仕事を増やすことなど避けて、無難に働こうという考えが起しないかと、時には思っています。

そんな時、児童家庭支援センターを立ち上げたいと思ったきっかけを思い出そうにしています。白浜町で教育委員をさせていただく中で、学校を直接支援できるところがほしいとずっと考えていました。中学校の相談室の仕事をさせていた、だいたいは、児童・生徒や、子育てに苦労している親御さんを助けたいと思ってきました。思いがあれば、今与えられているものをフルに使って何かできないかと考えます。

枠の内をさらに充実させながら、枠の外にも出来る可能性を探りたいのです。さあ、この5月も思いを広げていきます。



「このこの」の活動を紹介します



先月号では、「児童家庭支援センターってそもそも何をするとどう？」というテーマで、国が示している「児童家庭支援センター設置運営要綱」より児家センについて説明しました。今月号では、「このこの」が実際に行っている活動についてご紹介いたします。*先月号で「要綱」を「要項」と記載していました。お詫びの上、訂正いたします。

「このこの」が目指す活動

「連携と協働」

このこのこが、目指す活動として2点をあげています。

一つはさまざまな人々や団体のネットワーク作りにより、地域における児童家庭への支援がつながる(連携する)一助となること。

もう一つは、福祉、精神保健、教育等の地域における専門機関による児童家庭への支援を互いに協力して実

施すること(協働する)の一助となること。

この2つを目指して活動してきました。3年以上を経て少しずつですが、活動は充実しています。

活動エリア

このこのこは、紀南児童相談所と紀南児童相談所新宮分室の管轄である、紀南地域、みなべ町・田辺市・白浜町・上富田町・すさみ町・串本町・古座川町・那智勝浦町・太地町・新宮市・北山村が、活動エリアです。

センターの特色、専門職の配置

サポートを充実させるためのセンターの特色として専門職の配置があります。心理の専門職としての公認心理師(臨床心理士)、ソーシャルワーカー・福祉の専門職としての精神保健福祉士・社会福祉士、保育・教育の専門職としての保育士・元教員、そして看護師によるスタッフでサポートチームを組織しています。

5つの事業を充実するために

先月号で、児家センの事業内容として、5つ紹介いたしました。

- (1) 地域・家庭からの相談に応ずる事業
 - (2) 市町村の求めに応ずる事業
 - (3) 都道府県、又は児童相談所からの受託による指導
 - (4) 里親等への支援
 - (5) 関係機関等との連携・連絡調整
- (次頁に続く)

まずはお電話・LINE・メールでご相談ください

ささいなことでもお電話ください

0739-45-8818

LINE くまのっ子のこのこ



nokonokojikasen@gmail.com

文章を上手く書けなくても大丈夫です。書ける範囲で書いてくださればお返事します。



通信のこのこ

くまのっ子 児童家庭支援センター



令和8年5月号 (第02号) (通算36号)

運営者 特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク



親子ひろば イメージ図

(前頁から続く)これらの事業に取り組んで行くためには、まずセンターが、児童や家庭・地域・学校などの応援団であることと、そのことを知ってもらうことが大前提になります。そこで、このこでは、見家センターとして様々な活動に取り組んでいます。

多彩なセンターの活動のこのこ相談

このこのこ主要な活動が、このこ相談です。1-8歳未満の児童に関する困りごとや悩みについて一緒に考えさせてもらいます。対象は、児童本人や保護者・家族はもちろん、近隣知人、学校、児童相談所、市町村、学校、福祉施設等々、どなたからでもお受けします。方法は、ライン

や電話、メール、来所、こちらからの訪問による相談があります。

また、関係機関の要請に応じて、心配な児童・家庭のケース会議に、心理士や相談員が出席させてもらっています。

このこのこ広場

乳幼児とその保護者・家族の集いの場として、このこのこ広場を企画しています。広場では4種類の機会を準備しています。

(1) おやこ広場：月に2回、自由遊びや紙芝居などを行います。

(2) 親子リトミック：月に1回実施します。音楽に合わせて手足や体全体を動かす活動や楽器を鳴らすなど、子どもの感性や運動能力を育む音楽教育法です。

(3) のびのびリトミック：たくさんのお友だちがいる場所が苦手な子どもさんが、少人数でリトミックを楽しめる場です。二か月に一度の割合で実施しています。

(4) このこのこ赤ちゃん食堂：月一回、幼児向けのメニューですが、なたでも参加いただけます。食事しながらの豊かなコミュニケーションの場をめざしています。(子ども無料、大人の方は百円)

※このこのこ広場の申し込みは、本紙3頁4ページをご覧ください。

このこのこルーム

登校できないが、個別の授業を受けたい、勉強が遅れるのが心配といった小学生や中学生の方への学習支援を行います。週一回程度の割合で来所していただき(場合によっては相談員が訪問)、一緒に学習します。居場所としても利用可能です。

健診への訪問

乳幼児の保護者の方々とのつながりの機会として、周辺市町の乳幼児健診に顔を出させてもらっています。お声掛けをして、このこのこ情報をお伝えします。この取組から、このこのこ相談や広場を利用してもらおうきっかけにもなっています。

センターの活動とその内容

このこのこ相談	センターの主要事業です。困りごとや悩み事に関して、来所していただいたの相談とこちらからの訪問による相談があります。	
このこのこ広場	親子ひろば	主に未就園の親子のみなさんが対象で、コミュニケーションの場を提供しています。
	親子リトミック	
	のびのびリトミック	
このこのこ赤ちゃん食堂		
このこのこルーム	登校が難しい児童生徒の方々への学習支援の場としてセンターを活用してもらいます。居場所としても利用可能です。	
健診への訪問	市町村の乳幼児健診に出席していただき、保護者のみなさんとつながります。	
連携	児相	児童相談所や市町村、紀南地域の児童養護に関わる各種団体、学校等との連携協働をすすめています。
	市町村	
	各種団体	
	学校	
講演等の企画開催	児童や子育てにかかわる講演会、相談会、ワークショップを企画します。	
講師派遣	みなさまからの依頼で講師を派遣します。	

関係機関との連携

児童や家庭の困り感や悩み等への支援は、一つの専門機関だけではなかなかうまく行きません。このこでは、児童相談所や市町村、児童養護や福祉に関わる各種団体、学校等との連携を密にしています。最近では、市町の教育支援センターとも連携が進んでいます。

講演等の企画開催、講師派遣

講演会を企画しています。また、市町や学校関係機関の要請に応じて、このこのこから研修会等の講師派遣も行っています。

以上、このこのこ活動内容について、お伝えいたしました。今後とも、さらに活動を活性化していきたいと考えます。






のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

5月


風薫る5月。爽やかな風、風によってやってくる緑や花の芽吹きの良い、日々濃く変化していく緑の葉、風の音、鳥の声と、自然に目を向けることで五感を研ぎ澄ますことができます。五感を使ったリアルな体験は、脳の神経回路をつなぎ、思考力や集中力、言語能力の土台を作っていくてくれます。貴重な幼児の時代に、たくさんの感覚を使う体験を取り入れられるといいですね。



5月の予定


親子ひろば
 5月11日(月) 自由遊び・紙芝居など
 5月25日(月) 9:30～11:00

親子でほっこり幸せ時間
親子リトミック (定員) 8組
 5月20日(水) 10:00～10:40頃
 申し込みが必要です(右のQRコードから)
 動きやすい服装でお越しください



のこのこ赤ちゃん食堂
 5月18日(月) 開始時間 11:00～
 (親子 100円) ※大人一人増えるにつき+100円
 (定員) 20組

のびのびリトミック (定員) 3組
 5月7日(木) 10:00～11:00頃
 ♡子どもさんの発達が気になっている保護者さん、大勢のお友達がいる場所が苦手な子どもさんなどが対象です。詳しくはお問い合わせください。



どの年齢の子どもさんにも
 利用していただけます



開催場所について

日	5/11・25(月)	5/7(木)	5/18(月)	5/20(水)
内容	親子ひろば	のびのびリトミック	のこのこ赤ちゃん食堂	親子リトミック
場所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 0739-45-8818)			

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。はまゆう病院駐車場をご利用ください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

18日は月1回の、のこのこ食堂の日です。予約が必要です。利用される方は5月14日

17時00分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



のこのこ広場

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



このこのインスタ



このこのHP



G mail



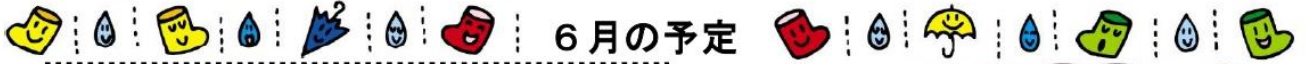


のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

6月

雨の季節となりました。子ども達は傘やレインコート、長靴が大好きです。ファッションショーさながらに見せてくれる姿は何ともかわいいですね。また、カタツムリにカエルにホテルと、梅雨時ならではの出会いもたくさん。何かと気分が滅入りがちな梅雨の季節ですが、心ウキウキになれる推しを見つけてみるのもいいですね。



6月の予定

親子ひろば

6月 8日 (月) 自由遊び・紙芝居など
6月 22日 (月) 9:30～11:00

親子でほっこり幸せ時間

親子リトミック

6月 17日 (水) 10:00～10:40頃
(定員) 8組
申し込みが必要です(右のQRコードから)
動きやすい服装でお越しください



のこのこ赤ちゃん食堂

6月 15日 (月) 開始時間 11:00 定員 20組
(親子 100円) ※大人一人増えるにつき+100円

どの年齢の子どもさんにも
利用していただけます

* 開催場所について *

日	6 / 8 (月) ・ 22 月	6 / 15 (月)	6 / 17 (水)
内容	親子ひろば	のこのこ食堂	親子リトミック
場所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 0739-45-8818)		

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。はまゆう病院駐車場をご利用ください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

15日は月1回の、のこのこ食堂の日です。予約が必要です。利用される方は6月11日(木)

17時00分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



のこのこ広場

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



このこのインスタ



このこのHP



G mail

